

携帯型の専用端末で渋滞解消へ

今年度中に無償貸与

神戸市と阪神国際港湾

△導入支援とセットでの貸与を考えている」（市港湾局）としている。

市は4月19日、海貨事業者には上限100万円、ターミナル事業者には同600万円の今年度のシステム導入支援を発表。システムは、ゲートを通過するトレーラの情報を海貨・ターミナル側に事前に送ることができるもので、トレーラ乗務員による従来のゲート前でのタッチパネル操作をなくすことができる。3月下旬に実施した実証実験では通常は1台のトレーラに1～2分かかるゲート通過時間が、8～10秒に短縮され、成果があったという。

【兵庫】コンテナターミナルゲート前のトレーラ渋滞を解消するためとして神戸市と阪神国際港湾は、港湾情報システムとやり取りする携帯型の専用端末を今年度中にトレーラ事業者は無償貸与する。貸与の時期は未定だが、「海貨およびターミナル事業者への港湾情報システム

（西口訓生）